中学生向け交通環境学習～未来のまちづくり交通教室～　構想案

１　目的

中学生は、高校進学を控え、遠方への通学を検討する時期であるとともに、今後成長していく中で、１人でバスや電車を活用する機会が多くなる転換点にあります。

これを機に公共交通の抱える問題や課題を把握し、地域問題や環境問題に関心を持ってもらうことで、自発的に環境にやさしい「交通行動」を選択するきっかけを提供します。

２　テーマ・目標

教科等：「総合的な学習の時間」

テーマ：探究！私たちのまちの公共交通～未来のまちづくり交通教室～

学校が所在する市町に沿ったテーマ設定

（地域の活性化につながる公共交通の利用促進等）

目　標：自分たちが住む地域の特徴や公共交通の現状について知り、地域の良さや課題、自分たちとの関わり方について考えるとともに、地域のためにできることを考え行動する。

３　活用例（２コマを想定）

対象学年：全学年対応（学年に応じた内容の調整も可能です。）

１コマ目：行政職員による講義「公共交通の現状、地域との関わり」

		学習活動　〇：行政職員　●：生徒	ねらい
導入	５分	１　自己紹介 〇職務の紹介。	・地域の移動手段や環境負荷低減等といった公共交通が担う役割を知る。 ・暮らしに密接した公共交通という視点から、「自分ごと」として地域課題に向き合う。 ・具体的なデータ・事例を交えることで、地域の現状を客観的に捉える力を養う。
展開１	40分	２　公共交通の役割・滋賀県の公共交通の現状について知る。 〇滋賀県における公共交通の概要を説明し、県統計書・県政世論調査等のデータから公共交通の役割と現状について説明。 ３　市町の公共交通の現状について知る。 〇市町の公共交通の現状・公共交通の課題（公共交通の利用者減少・バスの運転士不足等）について説明。それに対する行政の支援等（コミュニティバス・乗合タクシーの運行、利用促進の取組等）を紹介。	

	5分	4　市町が抱える公共交通の課題について知る。 〇市町が抱えている公共交通に関する課題を提示。２コマ目のグループワークにスムーズに繋がるよう、課題を改めて提示する。	・行政担当者等から話を聞くことで、地域で働く人の想い・考えを学ぶ。

２コマ目：グループワーク・発表

		学習活動　〇：行政職員　●：生徒	ねらい
展開２	40分	5　グループワーク ●議題に対して各グループで議論を行い、発表・提案をする。 （例：・公共交通の利用の周知方法 ・電車やバスが廃線になるとどうなるのか？ ・公共交通で巡る観光ツアーの企画 ・公共交通の利用者を増やすには？ ・公共交通/マイカーの良い点・悪い点 〇出された意見に対してコメント	・授業内で提示されたデータ・情報を用いながらアイデアを考える。生徒が主体的に解決策を考えるアクティブラーニングが可能。
まとめ	10分	6　振り返り ●「今後、公共交通のために自分に何ができるか？」（例えば、積極的に利用する、家族と話す等）を考えてもらう。	・行政に提案する機会を設けることで、生徒が「自分たちの提案が地域を動かすかもしれない」という意識を持てるようにする。地域への参画意識の醸成につなげる。

※クラス数によって授業構成・形式を変える可能性もございます。

4　その他

- 決まったカリキュラムではなく、学校の授業計画に応じて**自由な教材の選択・設定を可能**とし、授業時間数も学校の予定に合わせて柔軟に対応いたします。
- 授業実施にあたって、学校側の**金銭的負担は一切ございません。**
- 授業で使用する資料等を提供いたします。また、公共交通に関わる部署の行政職員が直接学校へ伺い、授業を担当します。

5　お問合せ先

本授業にご関心をお持ちいただけましたら、お気軽に下記担当までご連絡ください。

担当：滋賀県交通まちづくり部交通まちづくり政策課
事業推進室地域交通係
TEL：077-528-3680　　FAX：077-528-4837
mail：ra0005@pref.shiga.lg.jp